

第6章 学部教育(デザイン学部)

第6章 学部教育（デザイン学部）

本学部の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

デザイン学部では、本学の理念に沿う実学の体現者として、豊かな教養と深い専門性を備え、新しい時代を切り拓く人材の育成を通じて、グローバルな視点で地域や社会の学術文化の進展及び産業の振興に貢献できる人材の育成を目指しています。したがって、本学部では次の能力を身に付け、かつ卒業の要件を満たした者に学位を授与します。

【教養・多面的思考力】人間性を尊ぶ姿勢を学び、社会人としての基礎的教養を身につけ、幅広い視点の獲得により多面的に思考できる

【倫理観】デザイナーに求められる高い倫理観を身に付けている

【異文化理解・コミュニケーション力】日本語による記述力、口頭発表力、企画提案力、作品等を通じたコミュニケーション力、外国語によるコミュニケーション能力及びグローバルな視点を身に付けている

【地域でのコミュニケーション力・企画提案力】地域におけるコミュニケーション力と専門性を生かした企画提案力を身に付けている

【専門性1】デザイン基礎に関する知識・技能とそれらを活用できる能力を身に付けている

【専門性2】領域デザインに求められる知識・技能を有し、それらを柔軟に活用することができる

【専門性3】領域デザインに求められる知識・技能を有し、かつ実社会で自律的に活用するため、学術文化や産業の振興を念頭に、社会の課題に取り組む研究能力や実務能力を有している

【行動力・課題解決力】持続的な発展・開発、少子高齢化への対策などの社会の要請に対し、デザインによる新たな視点を活かし、実効性を伴う問題提起ならびに問題解決策の提案ができる

【生涯学習力】地域の文化や技術の持続的な発展と裾野の広がりに関心をもち、新しい知識や価値観を継続的に学修、吸収する態度を身に付け、自律的に活動できる

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

デザイン学部は、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、次のような教育課程を編成しています。

【導入教育】修学基礎に関する共通教育科目により、大学での学びについての理解を深めます。

【教養・多面的思考力】自然科学、人文・社会科学、健康科学及び社会連携に関する幅広い共通教育科目により、多面的な視点と社会的な良識を持って考える能力を養成します。また美術の歴史について、デザイン分野の基礎として学びます。さらに社会連携に関する共通教育科目では、地域社会との協働意識を養います。

【倫理観】フレッシュマンセミナーを通じて、現場のデザイナーによる講義に触れることで、職業人としての良識及び倫理観を培います。また、専門教育において知的財産権などの講義により、デザイナーに求められる規範意識を養います。

【異文化理解・コミュニケーション力1】語学国際に関する共通教育科目により、外国語によるコミュニケーション能力及びグローバルな視点を養います。

【異文化理解・コミュニケーション力2】専門教育における各演習科目のプレゼンテーションや国際交流、卒業研究の発表会を通じて、日本語による記述力、口頭発表力、企画提案力、作品等を通じたコミュニケーション力を養います。

【地域でのコミュニケーション力・企画提案力】「岡山創生学」等の社会連携科目や専門科目により、地域が果たす役割を考え、地域の課題を発見し、その解決に向けた方策を自ら考え、専門的知識を活用して、地域と協働する能力を養います。

【専門性1】1年次は、「学部基礎教育科目」や「学科専門教育科目」でデザイン史や色彩学などのデザイン理論やデザイン基礎演習を幅広く学び、デザイン基礎に関する知識・技能を養います。

【専門性2】2年次からは両学科とも領域に分かれて、新たな文化価値を創造するために必要な学科専門教育科目及び講義と演習が体系化された領域専門教育科目を履修します。学科専門教育科目では、各自の志向に基づき、自主的に選択できる演習科目を中心として編成しています。企画提案力に必要な発想から情報分析、課題解決までのプロセスを身に付けるために、領域専門教育科目は複数の専門領域が用意されており、横断的に学ぶことができるよう編成しています。

【専門性3】自ら発見した課題解決のために、1年間を通じて卒業研究を履修します。

【行動力・課題解決力】演習や正課外において、各種コンペ、地域ならびに国際交流の機会を活かし、作品発表やワークショップにチャレンジするとともに、学外者から与えられた課題や自ら発見した課題に取り組み、課題解決力を養います。

【生涯学習力】体系的なカリキュラムにより4年間で系統的に修得したデザイン学に関する広範囲な分野の専門的知識を基礎として、常に進展する技術やデザインの価値を見極め、自主的・継続的に学習し、自身の活動に活かすことができる能力・態度を養います。

1 デザイン工学科

1.1 本学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

デザイン工学科では、共通教育に加えて、製品・情報デザイン領域あるいは建築・都市デザイン領域での専門教育により、これらの関係性を知識・技能の修得を通じて学ぶことで、地域社会・国際社会の持続的発展のために、その能力を長きにわたって発揮できる、デザイナー・建築家等の実務担当者の育成を目指しています。

したがって、本学科では次の能力を身に付け、かつ卒業の要件を満たした者に学位を授与します。

【教養・多面的思考力】人間性を尊ぶ姿勢を学び、社会人としての基礎的教養を身につけ、幅広い視点の獲得により多面的に思考できる

【倫理観】デザイナーに求められる高い倫理観を身に付けている

【異文化理解・コミュニケーション力】日本語による記述力、口頭発表力、企画提案力、製品や作品提案等を通じたコミュニケーション力、外国語によるコミュニケーション能力及びグローバルな視点を身に付けている

【地域でのコミュニケーション力・企画提案力】地域におけるコミュニケーション力と専門性を生かした企画提案力を身に付けている

【専門性1】デザイン基礎に関する知識・技能とそれらを活用できる能力を身に付けている

【専門性2】製品・情報デザイン領域及び建築・都市デザイン領域に求められる知識・技能を有し、それらを柔軟に活用することができる。

【専門性3】製品・情報デザイン領域及び建築・都市デザイン領域に求められる知識・技能を活用し、学術文化や産業の振興を念頭に、社会の課題に取り組む研究能力や実務能力を有している。

【行動力・課題解決力】持続的な発展・開発、少子高齢化への対策などの社会の要請に対し、デザインによる新たな視点やイノベーション対応能力を活かし、実効性を伴う問題提起ならびに問題解決策の提案ができる。

【生涯学習力】地域の文化や技術の持続的発展と裾野の広がりに関心を持ち、新しい知識や価値観を継続的に学修、吸収する態度を身に付け、自律的に活動できる。

1.2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

デザイン工学科では、入学者受入方針に沿い、かつ学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、次のような専門教育課程を編成しています。

【導入教育】修学基礎に関する共通教育科目により、大学での学びについての理解を深めます。

【教養・多面的思考力】自然科学、人文・社会科学、健康科学及び社会連携に関する幅広い共通教育科目により、多面的な視点と社会的な良識を持って考える能力を養成します。また、統計学の基礎について、数的データ処理の基礎として学びます。さらに社会連携に関する共通教育科目では、地域社会との協働意識を養います。

【倫理観】フレッシュマンセミナーを通じて、現場のデザイナーによる講義に触れることで、職業人としての良識及び倫理観を培います。また、専門教育において知的財産権などの講義により、デザイナーに求められる規範意識を養います。

【異文化理解・コミュニケーション力1】語学国際に関する共通教育科目により、外国語によるコミュニケーション能力及びグローバルな視点を養います。

【異文化理解・コミュニケーション力2】 専門教育における各演習科目のプレゼンテーションや、海外協定校とのワークショップ及び卒業研究の発表会を通じて、日本語による記述力、口頭発表力、企画提案力、作品等を通じたコミュニケーション力を養います。

【地域でのコミュニケーション力・企画提案力】 「岡山創生学」等の社会連携科目や専門科目により、地域が果たす役割を考え、地域の課題を発見し、その解決に向けた方策を自ら考え、専門的知識を活用して、地域と協働する能力を養います。

【専門性1】 1年次は、「学部基礎教育科目」や「学科専門教育科目」でデザイン史や色彩学などのデザイン理論やデザイン基礎演習を幅広く学び、デザイン基礎に関する知識・技能を養います。なお、デザイン工学科生に求められる、立体や空間表現力の基礎として、モデリングやデザイン・ドローイングを学びます。

【専門性2】 2年次より「領域専門教育科目」が加わり、学生は「製品・情報デザイン領域」あるいは「建築・都市デザイン領域」何れかの専門科目を新たに履修します。これにより、各領域の学びを深化させ、デザイン基礎技能、発想力、問題発見力、問題解決力としての企画・提案力等の獲得を目指します。

- ・製品・情報デザイン領域では、プロダクトデザインや、エクスペリエンスデザイン、情報デザインの講義・演習の横断的に選択出来るよう科目を編制し、将来のキャリアプランへの判断が早期かつ柔軟にできるようにしています。

- ・建築・都市デザイン領域では、卒業時に国家資格である一級・二級建築士、木造建築士の受験資格を得るのに必要な国土交通省指定の科目を準備し(ただし受験資格によっては実務経験も要求される)、設計製図・建築計画・環境工学・建築設備・構造力学から法規や都市計画まで幅広く学習します。

3年次以降は、企業や官公庁でのインターンシップやデザイン実習を通じて、実社会での業務経験の機会を得るように努める一方で、卒業生および社会で活躍するデザイン専門家を招聘した特別講義等により、職業としてのデザインの実際に接することに努めます。また各領域においては、ポートフォリオの作成をうながし、進路に応じたアドバイスを受けます。

【専門性3】 4年次では、各領域で学んだ専門知識と技能を活かし、自ら発見した課題解決のために1年間を費やし「卒業研究」を履修します。卒業研究では、学科全教員の参加する中間・最終の2度の発表とその際の指導を経て、卒業作品ならびに卒業論文もしくは卒業研究ノートを作成します。作品は展覧会形式にて学外で発表され、自己の研究成果を社会に発信し、評価を得る機会としています。

【行動力・課題解決力】 演習や正課外において、各種コンペ、地域ならびに国際交流の機会を活かし、作品発表やワークショップにチャレンジするとともに、学外者から与えられた課題や自ら発見した課題に取り組み、課題解決力を養います。

【生涯学習力】体系的なカリキュラムにより4年間で系統的に修得したデザイン学に関する広範囲な分野の専門的知識を基礎として、常に進展する技術やデザインの価値を見極め、自主的・継続的に学習し、自身の活動に活かすことができる能力・態度を養います。また「インターンシップ」や卒業生および社会で活躍するデザイン専門家を招聘した特別講義等により、継続的な研鑽の必要性を学びます。

1.3 卒業要件と履修方法

(1) 卒業要件

卒業要件単位数は下表のとおりである。

	領域	必修科目	選択科目	計
共通教育科目	製品・情報デザイン領域	16 単位	18 単位	34 単位
	建築・都市デザイン領域	16 単位	18 単位	
学部教育科目	製品・情報デザイン領域	36 単位	54 単位	90 単位
	建築・都市デザイン領域	59 単位	31 単位	
計	製品・情報デザイン領域	52 単位	72 単位	124 単位
	建築・都市デザイン領域	75 単位	49 単位	

(2) 卒業研究の履修要件

4 年次に開講される卒業研究の履修要件は次のとおりである。

- ・卒業要件単位数 124 単位のうち、90 単位以上を修得済みであること。

(3) 他学部・他学科開講科目の取り扱い

造形デザイン学科開講の学部教育科目を単位修得した場合、6 単位を超えない範囲で、修得単位を「学部基礎教育科目」の選択科目の単位として取り扱う。保健福祉学部及び情報工学部開講の学部教育科目は自由科目として取り扱う。

(4) 所属領域の選択

領域の所属は 2 年次からである。領域選択の際は次のことを留意すること。

- ① 所属領域は 2 年次に、「領域専門教育科目」の登録で確定する。
- ② 学科教員による事前指導がある。
 - ・ 1 年次後期に、領域選択説明会を実施する。その際、希望調査用紙を配布する。
 - ・ 説明会以降、希望調査用紙回収日までに学科の全教員が領域選択に関する相談に応じる。
 - ・ 希望調査用紙回収後の集計結果によっては、履修登録前までに学科より指導がある場合がある。

1.4 資格の取得

- ・一級建築士試験受験資格、二級建築士試験受験資格、木造建築士試験受験資格
表1「建築士試験受験資格に必要な指定科目単位と建築実務経験年数」に示された条件を満たした者は、受験資格を有する。

1.5 授業科目

授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次 及び必修選択の別				開講 時間数	開講 単位数	卒業要件 単位数	
			1年	2年	3年	4年				
学部基礎 教育科目	デザイン史	講義	河合	◎				30	2	90 単 位
	デザイン史特論Ⅰ	講義	小野	○				15	1	
	デザイン史特論Ⅱ	講義	北山	○				15	1	
	色彩学	講義	山下(明)	◎				30	2	
	日本デザイン論	講義	吉原	○				30	2	
	情報処理論Ⅰ	講義	山下(万)	○				15	1	
	情報処理論Ⅱ	講義	益岡	○				15	1	
	造形文化論Ⅰ	講義	樋笠	○				30	2	
	造形文化論Ⅱ	講義	河合		○			30	2	
	マーケティング	講義	助川		○			30	2	
	デザイナーのための心理学	講義	※ 栗川		○			30	2	
	造形材料論Ⅰ	講義	難波		○			15	1	
	造形材料論Ⅱ	講義	塚本		○			15	1	
	プロダクトデザイン論	講義	村木		○			30	2	
	建築デザイン論【建】	講義	岩本		△*1			30	2	
	エルゴノミクス【建】	講義	塚本		○			30	2	
	地域とデザイン	講義	※ 印南		○			30	2	
	インタラクティブデザイン論Ⅰ	講義	山下(万)		○			15	1	
	インタラクティブデザイン論Ⅱ	講義	尾崎		○			15	1	
	色彩計画演習	演習	山下(明)		○			30	1	
	専門英語Ⅰ(デザイン情報読解)	講義	ブルネリ			○		30	2	
	専門英語Ⅱ(原書講読)	講義	風早			○		30	2	
	デザイナーのための文章表現	講義	柴田			○		30	2	
	アートプロデュース論Ⅰ	講義	※ 大月			○		15	1	
	アートプロデュース論Ⅱ	講義	※ 佐藤			○		15	1	
	デザインマネジメント	講義	助川			○		30	2	
	照明デザイン	講義	※ 藤原			○		30	2	
	空間デザイン論【建】	講義	福濱			△*1		30	2	
	まちづくり論【建】	講義	西川			○		30	2	
	知的財産権Ⅰ	講義	※ 平野			○		15	1	
知的財産権Ⅱ	講義	※ 平野			○		15	1		
特別講義	講義	※ 川野			○		30	2		
デザインプロジェクト演習	演習	嘉数・他			○		120	4		
キャリアゼミナール	演習	学部全教員	○				30	1		
学科専門 教育科目	デザインドローイングⅠ【建】	演習	津田・島	◎				30	1	
	デザインドローイングⅡ【建】	演習	村木・林	◎				30	1	
	製図【建】	演習	西川・林	◎				30	1	
	DTP演習	演習	※ 谷	◎				30	1	
	モデリング技能1【建】	演習	三原・村木	◎				30	1	
	モデリング技能2【建】	演習	津田・島	◎				30	1	
	モデリング技能3【建】	演習	林・※石田	◎				30	1	
	モデリング技能4【建】	演習	村木・益岡	◎				30	1	
	フォルムデザイン	演習	塚本・尾崎	○				30	1	
	スペースデザイン【建】	演習	福濱・朴・島	○				30	1	
	エディトリアルデザイン	演習	小野・上田	○				30	1	
写真演習	演習	※ 中村		○			30	1		

注) 「◎」印は両領域必修科目

「○」印は両領域選択科目

「■」印は製品・情報デザイン領域必修科目、建築・都市デザイン領域は選択科目

「□」印は製品・情報デザイン領域選択必修科目(計14単位以上を必修)、建築・都市デザイン領域は選択科目

「▲」印は建築・都市デザイン領域必修科目、製品・情報デザイン領域は選択科目

「△」印は建築・都市デザイン領域選択必修科目(「△*1」から4科目8単位を必修。「△*2」から計14単位以上を必修)、製品・情報デザイン領域は選択科目

【建】は建築士試験指定科目

学部教育科目の卒業要件単位数は90単位、卒業要件単位数は124単位(共通教育科目34単位を含む)

全教員担当科目は教授・准教授・講師・助教を担当教員とする。また、科目により助手が授業補助にあたる場合がある。※は非常勤講師

授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次 及び必修選択の別				開講 時間数	開講 単位数	備考	
			1年	2年	3年	4年				
製品・情報デザイン領域	CAD演習Ⅰ（製品・情報）	演習	林		○			30	1	90 単 位
	CAD演習Ⅱ（製品・情報）	演習	三原		○			30	1	
	情報デザイン論	講義	益岡		○			30	2	
	デザインプランニング	講義	益岡・尾崎		○			30	2	
	製品工作論	講義	※川月		○			30	2	
	家具設計	演習	三原		○			30	1	
	エルゴノミクス演習	演習	森下・上田		○			30	1	
	映像デザイン	演習	※五島		○			30	1	
	タイポグラフィ	演習	小野		○			30	1	
	インフォメーショングラフィックス	演習	小野・上田		○			30	1	
	デザイン分析	講義	三原			○		30	2	
	ユーザインタフェース	講義	尾崎			○		30	2	
	製品機構学	講義	※横井			○		30	2	
	サウンドデザイン	演習	※未定			○		30	1	
	インタラクティブデザイン演習Ⅰ	演習	尾崎			○		30	1	
	インタラクティブデザイン演習Ⅱ	演習	益岡			○		30	1	
	製品・情報デザイン領域演習1	演習	村木・上田			□		45	2	
	製品・情報デザイン領域演習2	演習	小野・尾崎			□		45	2	
	製品・情報デザイン領域演習3	演習	三原・※未定			□		45	2	
	製品・情報デザイン領域演習4	演習	益岡・林			□		45	2	
	製品・情報デザイン領域演習5	演習	上田・三原				□	45	2	
	製品・情報デザイン領域演習6	演習	林・村木				□	45	2	
	製品・情報デザイン領域演習7	演習	尾崎・益岡				□	45	2	
	製品・情報デザイン領域演習8	演習	塚本・小野				□	45	2	
	製品・情報デザインインターンシップ	演習	三原・上田・林				○	60	2	
	製品・情報デザインゼミナールⅠ	演習	領域全教員			■		30	1	
製品・情報デザインゼミナールⅡ	演習	領域全教員			■		30	1		
製品・情報デザイン卒業研究	演習	領域全教員				■	240	8		
領域専門教育科目 建築・都市デザイン領域	CAD演習Ⅰ（建築・都市）【建】	演習	嶋		○			30	1	
	CAD演習Ⅱ（建築・都市）【建】	演習	嶋		○			30	1	
	近現代建築論【建】	講義	西川		○			30	2	
	都市計画【建】	講義	西川		○			30	2	
	建築計画論【建】	講義	岩本			△*1		30	2	
	西洋建築史【建】	講義	岩本				△*1	30	2	
	日本建築史【建】	講義	福濱				△*1	30	2	
	施設計画論【建】	講義	中西				△*1	30	2	
	福祉計画論【建】	講義	朴				△*1	30	2	
	景観デザイン論【建】	講義	未定				○	30	2	
	都市環境調査【建】	演習	西川・朴				○	30	1	
	環境原論【建】	講義	西川・※長澤				▲	30	2	
	建築材料概論【建】	講義	福濱				▲	15	1	
	建築一般構造【建】	講義	津田				▲	15	1	
	構造力学Ⅰ【建】	講義	津田				▲	30	2	
	構造力学Ⅱ【建】	講義	津田				▲	30	2	
	建築構法【建】	講義	福濱				▲	15	1	
	建築構造計画【建】	演習	津田・※樹田				▲	30	1	
	建築材料演習【建】	演習	津田・嶋				▲	30	1	
	建築設備概論【建】	講義	※臼井				▲	30	2	
	建築生産【建】	講義	※臼井				▲	30	2	
	建築法規Ⅰ【建】	講義	未定				▲	15	1	
	建築法規Ⅱ【建】	講義	未定				○	15	1	
	建築設計演習1【建】	演習	岩本				△*2	45	2	
	建築設計演習2【建】	演習	※榎本・岩本				△*2	45	2	
	建築設計演習3【建】	演習	西川・津田				△*2	45	2	
	建築設計演習4【建】	演習	※ラングナー・福濱				△*2	45	2	
	建築設計演習5【建】	演習	※大賀・嶋				△*2	45	2	
	建築設計演習6【建】	演習	岩本				△*2	45	2	
	建築設計演習7【建】	演習	福濱・※菊池				△*2	45	2	
	建築設計演習8【建】	演習	西川・朴・※未定				△*2	45	2	
	建築・都市デザインインターンシップ【建】	演習	福濱・朴				○	60	2	
建築・都市デザインゼミナール	演習	領域全教員				▲	30	1		
建築・都市デザイン卒業研究	演習	領域全教員				▲	240	8		

表1 建築士試験受験資格に必要な指定科目単位と建築実務経験年数

分類	本校における授業科目名	単位	一級建築士試験			二級・木造建築士試験								
① 建築設計製図	建築設計演習1	2	7単位以上	7単位以上	7単位以上	5単位以上	5単位以上	5単位以上						
	建築設計演習2	2												
	建築設計演習3	2												
	建築設計演習4	2												
	建築設計演習5	2												
	建築設計演習6	2												
	建築設計演習7	2												
	建築設計演習8	2												
② 建築計画	建築計画論	2	7単位以上	7単位以上	7単位以上	7単位以上	7単位以上	7単位以上						
	施設計画論	2												
	福祉計画論	2												
	建築デザイン論	2												
	空間デザイン論	2												
	西洋建築史	2												
	日本建築史	2												
③ 建築環境工学	環境原論	2	2単位以上	2単位以上	2単位以上									
④ 建築設備	建築設備概論	2	2単位以上	2単位以上	2単位以上									
⑤ 構造力学	構造力学Ⅰ	2	4単位以上	4単位以上	4単位以上	6単位以上	6単位以上	6単位以上						
	構造力学Ⅱ	2												
⑥ 建築一般構造	建築一般構造	1	3単位以上	3単位以上	3単位以上				6単位以上	6単位以上	6単位以上			
	建築構法	1												
	建築構造計画	1												
⑦ 建築材料	建築材料概論	1	2単位以上	2単位以上	2単位以上							6単位以上	6単位以上	6単位以上
	建築材料演習	1												
⑧ 建築生産	建築生産	2	2単位以上	2単位以上	2単位以上									
⑨ 建築法規	建築法規Ⅰ	1	1単位以上	1単位以上	1単位以上	1単位以上	1単位以上	1単位以上						
	建築法規Ⅱ	1												
⑩ その他	製図	1	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜						
	デザインドローイングⅠ	1												
	デザインドローイングⅡ	1												
	CAD演習Ⅰ(建築・都市)	1												
	CAD演習Ⅱ(建築・都市)	1												
	モデリング技能1	1												
	モデリング技能2	1												
	モデリング技能3	1												
	モデリング技能4	1												
	スペースデザイン	1												
	近現代建築論	2												
	まちづくり論	2												
	都市計画	2												
	景観デザイン論	2												
	都市環境調査	1												
	エルゴノミクス	2												
	建築・都市デザインインターンシップ	2												
	合計単位数								60単位以上	50単位以上	40単位以上	40単位以上	30単位以上	20単位以上
建築実務の経験年数			2年	3年	4年	0年	1年	2年						

上記の科目は、国土交通大臣によって指定された建築に関する科目である。

(なお、大学院においては、本大学大学院の指定科目を履修することにより、建築実務経験1年が認められる。)

1.6 カリキュラムマップ

学年	通年	導入教育	教養・多面的思考力	倫理観	異文化理解	地域でのコミュニケーション シヨウカ・企画提案力	専門性1	専門性2		行動力・課題解決力	生涯学習力
								製品・情報デザイン領域	建築・都市デザイン領域		
1年	1Q	大学で学ぶ	人文・社会科学要論	プレッショナルセミナー	ELP1		デザイン史 デザインローイング1 モテリング技能1 色彩学				
	2Q		自然科学要論		ELP2	おかやまブランドフェア論	デザインローイング2 モテリング技能2 フィルムデザイン				
	3Q		造形文化論 I 芸術学	情報処理論 I	ELP3	おかやまを学ぶ	デザイン史特論 I DTP演習 モテリング技能3 スペースデザイン				
	4Q			情報処理論 II	ELP4	日本デザイン論	デザイン史特論 II 製図 モテリング技能4 エディトリアルデザイン				
2年	通年	キャリアセミナー	造形文化論 II		ELP5		造形材料論 I エルゴノミクス	情報デザイン論 製品工作論 タイポグラフィ	環境原論 建築材料概論		
	1Q						インタラクティブデザイン論 I 造形材料論 II	製品・情報デザイン領域演習1 CAD演習 I (製品・情報)	建築設計演習1 CAD演習 I (建築・都市)		
	2Q						建築デザイン論 インタラクティブデザイン論 II 写真演習	製品・情報デザイン領域演習2 映像デザイン	近現代建築論 建築設計演習2		
	3Q		マークテイティング		ELP6	地域とデザイン	デザイナーのための心理学 色彩計画演習	製品・情報デザイン領域演習3	建築計画論 建築一般構造 建築法辨 I 建築設計演習3		
3年	1Q						プロダクトデザイン論 エルゴノミクス演習	CAD演習 II (製品・情報) 都市計画	CAD演習 II (建築・都市) 都市計画		
	2Q						インフォメーショングラフィックス デザイン分析	建築設計演習4 都市建築史	建築設計演習4 都市建築史		
	3Q						インタラクティブデザイン演習 I 製品・情報デザイン領域演習5	建築技法 建築精法	アートプロデュース論 I デザインマネジメント		
	4Q						空間デザイン論	製品概論学 インタラクティブデザイン演習 II 製品・情報デザイン領域演習6	建築設計演習5 施設計画論 建築構造計画 建築生産	アートプロデュース論 II	
4年	1Q							専門英語 I	まちづくり論	特別講義	
	2Q							知的財産権 I			
4年	3Q							知的財産権 II			
	4Q										
1-2Q											製品・情報デザインセミナー I
3-4Q											製品・情報デザインセミナー II
通年											製品・情報デザインインターンシップ
4年	通年										建築・都市デザイン卒業研究

注) 共通教育科目については、必修科目のみ記載している。
科目の開講時期については変更する場合があります。

1.7 履修モデル

①プロダクトデザイナーをめざす場合

プロダクトデザイナーは、主に製品のハードウェアを担当するデザイナーであり、意匠デザインのみならず設計や製造、マーケティングやユーザビリティ評価など幅広い知識と技能が求められます。デザインの検討と伝達を行うための基礎的技能であるレンダリングやモデリング、製図やCADの技能を身につけながら、エルゴノミクスや知的財産権など幅広い知識を身につけましょう。製品・情報デザインを実践する科目が製品・情報デザイン領域演習であり、製品のモノ的価値創造からコト的価値創造へとステップアップしていきます。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
大学で学ぶ	1	ELP 5	1	全カテゴリーから	5		
フレッシュマンセミナー	1	ELP 6	1				
人文・社会科学要論	2	人文・社会科学カテゴリーから	2				
芸術学	2	自然科学カテゴリーから	2				
自然科学要論	2	語学国際カテゴリーから	2				
ELP 1	1	社会連携カテゴリーから	1				
ELP 2	1						
ELP 3	1						
ELP 4	1						
おかやまボランティア論	1						
おかやまを学ぶ	1						
人文・社会科学カテゴリーから	2						
自然科学カテゴリーから	2						
健康科学カテゴリーから	2						
小計	20	小計	9	小計	5	小計	
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・自然科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・健康科学カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。 ・語学国際カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。 ・社会連携カテゴリーから選択科目1単位を修得すること。 ・全カテゴリーから選択科目5単位を修得すること。 							
学部教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
デザイン史	2	マーケティング	2	専門英語Ⅰ（デザイン情報読解）	2	製品・情報デザイン卒業研究	8
色彩学	2	デザイナーのための心理学	2	デザイナーのための文章表現	2		
情報処理論Ⅰ	1	造形材料論Ⅰ	1	アートプロデュースⅠ	1		
情報処理論Ⅱ	1	造形材料論Ⅱ	1	デザインマネジメント	2		
デザインドローイングⅠ	1	プロダクトデザイン論	2	照明デザイン	2		
デザインドローイングⅡ	1	エルゴノミクス	2	知的財産権Ⅰ	1		
製図	1	地域とデザイン	2	知的財産権Ⅱ	1		
DTP演習	1	色彩計画演習	1	特別講義	2		
モデリング技能1	1	写真演習	1	デザインプロジェクト演習	4		
モデリング技能2	1	CAD演習Ⅰ（製品・情報）	1	デザイン分析	2		
モデリング技能3	1	CAD演習Ⅱ（製品・情報）	1	ユーザインタフェース	2		
モデリング技能4	1	デザインプランニング	2	製品機構学	2		
フォルムデザイン	1	製品工作論	2	製品・情報デザイン領域演習5	2		
スペースデザイン	1	家具設計	1	製品・情報デザイン領域演習6	2		
エディトリアルデザイン	1	エルゴノミクス演習	1	製品・情報デザイン領域演習7	2		
		タイポグラフィ	1	製品・情報デザイン領域演習8	2		
		製品・情報デザイン領域演習1	2	製品・情報デザインインターンシップ	2		
		製品・情報デザイン領域演習2	2	製品・情報デザインゼミナールⅠ	1		
		製品・情報デザイン領域演習3	2	製品・情報デザインゼミナールⅡ	1		
		製品・情報デザイン領域演習4	2				
小計	17	小計	31	小計	35	小計	8
履修上の注意							
・卒業研究の履修要件は、卒業要件単位数124単位のうち、90単位以上を修得済みであること。							

②情報デザイナーをめざす場合

情報デザイナーは、製品やサービスにまつわる情報を担当するデザイナーであり、画面デザインのみならず印刷やWeb、サービス設計やユーザビリティ評価など、幅広い知識と技能が求められます。デザインの検討と伝達を行うための基礎的技能であるドローイングやDTPの技能を身につけながら、タイポグラフィやサウンドデザインなど幅広い知識を身につけましょう。製品・情報デザインを実践する科目が製品・情報デザイン領域演習であり、製品のモノ的価値創造からコト的価値創造へとステップアップしていきます。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
大学で学ぶ	1	ELP 5	1	全カテゴリーから	5		
フレッシュマンセミナー	1	ELP 6	1				
人文・社会科学要論	2	人文・社会科学カテゴリーから	2				
芸術学	2	自然科学カテゴリーから	2				
自然科学要論	2	語学国際カテゴリーから	2				
ELP 1	1	社会連携カテゴリーから	1				
ELP 2	1						
ELP 3	1						
ELP 4	1						
おかやまボランティア論	1						
おかやまを学ぶ	1						
人文・社会科学カテゴリーから	2						
自然科学カテゴリーから	2						
健康科学カテゴリーから	2						
小計	20	小計	9			小計	5
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・自然科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・健康科学カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。 ・語学国際カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。 ・社会連携カテゴリーから選択科目1単位を修得すること。 ・全カテゴリーから選択科目5単位を修得すること。 							
学部教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
デザイン史	2	マーケティング	2	専門英語Ⅰ（デザイン情報読解）	2	製品・情報デザイン卒業研究	8
デザイン史特論Ⅰ	1	デザイナーのための心理学	2	デザイナーのための文章表現	2		
デザイン史特論Ⅱ	1	エルゴノミクス	2	デザインマネジメント	2		
色彩学	2	地域とデザイン	2	知的財産権Ⅰ	1		
情報処理論Ⅰ	1	インタラクティブデザイン論Ⅰ	1	知的財産権Ⅱ	1		
情報処理論Ⅱ	1	インタラクティブデザイン論Ⅱ	1	特別講義	2		
キャリアゼミナール	1	色彩計画演習	1	デザインプロジェクト演習	4		
デザインドローイングⅠ	1	写真演習	1	デザイン分析	2		
デザインドローイングⅡ	1	CAD演習Ⅰ（製品・情報）	1	ユーザインタフェース	2		
製図	1	情報デザイン論	2	サウンドデザイン	1		
DTP演習	1	デザインプランニング	2	インタラクティブデザイン演習Ⅰ	1		
モデリング技能1	1	エルゴノミクス演習	1	インタラクティブデザイン演習Ⅱ	1		
モデリング技能2	1	映像デザイン	1	製品・情報デザイン領域演習5	2		
モデリング技能3	1	タイポグラフィ	1	製品・情報デザイン領域演習6	2		
モデリング技能4	1	インフォメーショングラフィックス	1	製品・情報デザイン領域演習7	2		
フォルムデザイン	1	製品・情報デザイン領域演習1	2	製品・情報デザイン領域演習8	2		
スペースデザイン	1	製品・情報デザイン領域演習2	2	製品・情報デザインインターンシップ	2		
エディトリアルデザイン	1	製品・情報デザイン領域演習3	2	製品・情報デザインゼミナールⅠ	1		
		製品・情報デザイン領域演習4	2	製品・情報デザインゼミナールⅡ	1		
小計	20	小計	29	小計	33	小計	8
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究の履修要件は、卒業要件単位数124単位のうち、90単位以上を修得済みであること。 							

③商品企画職（総合職）をめざす場合

商品企画は、社会のニーズを元に商品やサービスをつくり上げる仕事です。幅広く社会を見渡しつつ、マーケティングなどで裏付けられた客観的かつ論理的な思考力が求められます。コンセプトの具体化を行うためにドローイングやDTPなどの表現技能を身につけながら、マーケティングや統計など幅広い知識を修得しましょう。製品・情報デザインを実践する科目が製品・情報デザイン領域演習であり、製品のモノの価値創造からコトの価値創造へとステップアップしていきます。幅広い知識と論理的思考力を融合させて商品企画力を高めていくよう意識して取り組むと良いでしょう。

共通教育科目									
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位		
大学で学ぶ	1	ELP 5	1	全カテゴリーから	5				
フレッシュマンセミナー	1	ELP 6	1						
人文・社会科学要論	2	人文・社会科学カテゴリーから	2						
芸術学	2	自然科学カテゴリーから	2						
自然科学要論	2	語学国際カテゴリーから	2						
ELP 1	1	社会連携カテゴリーから	1						
ELP 2	1								
ELP 3	1								
ELP 4	1								
おかやまボランティア論	1								
おかやまを学ぶ	1								
人文・社会科学カテゴリーから	2								
自然科学カテゴリーから	2								
健康科学カテゴリーから	2								
小計	20	小計	9			小計	5	小計	
備考									
<ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・自然科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・健康科学カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。 ・語学国際カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。 ・社会連携カテゴリーから選択科目1単位を修得すること。 ・全カテゴリーから選択科目5単位を修得すること。 									
学部教育科目									
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位		
デザイン史	2	造形文化論Ⅱ	2	専門英語Ⅰ（デザイン情報読解）	2	製品・情報デザイン卒業研究	8		
デザイン史特論Ⅰ	1	マーケティング	2	専門英語Ⅱ（原書講読）	2				
デザイン史特論Ⅱ	1	デザイナーのための心理学	2	デザイナーのための文章表現	2				
色彩学	2	造形材料論Ⅰ	1	アートプロデュース論Ⅰ	1				
日本デザイン論	2	造形材料論Ⅱ	1	アートプロデュース論Ⅱ	1				
造形文化論Ⅰ	2	エルゴノミクス	2	デザインマネジメント	2				
デザインドローイングⅠ	1	地域とデザイン	2	照明デザイン	2				
デザインドローイングⅡ	1	インタラクティブデザイン論Ⅰ	1	知的財産権Ⅰ	1				
製図	1	インタラクティブデザイン論Ⅱ	1	知的財産権Ⅱ	1				
DTP 演習	1	色彩計画演習	1	特別講義	2				
モデリング技能1	1	写真演習	1	デザインプロジェクト演習	4				
モデリング技能2	1	デザインプランニング	2	製品・情報デザイン領域演習5	2				
モデリング技能3	1	製品工作論	2	製品・情報デザイン領域演習6	2				
モデリング技能4	1	タイポグラフィ	1	製品・情報デザイン領域演習7	2				
フォルムデザイン	1	製品・情報デザイン領域演習1	2	製品・情報デザイン領域演習8	2				
スペースデザイン	1	製品・情報デザイン領域演習2	2	製品・情報デザインインターンシップ	2				
エディトリアルデザイン	1	製品・情報デザイン領域演習3	2	製品・情報デザインゼミナールⅠ	1				
		製品・情報デザイン領域演習4	2	製品・情報デザインゼミナールⅡ	1				
小計	21	小計	29	小計	32	小計	8		
履修上の注意									
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究の履修要件は、卒業要件単位数124単位のうち、90単位以上を修得済みであること。 									

④建築設計者、建設技術者、建築営繕の行政職をめざす場合

建築家が修得すべき建築学は、建築計画に関わる分野（建築デザイン論／建築計画論／建築史等）と工学的要素を含む分野（環境原論／建築材料概論／建築構法／構造力学等）から構成されます。建築士受験科目として指定された科目は、建築学の基礎分野を網羅していますので、全て履修して幅広い知識と技能を身につけましょう。建築デザインを実践する科目が建築設計演習であり、小規模な建築から公共建築、複合用途建築へとステップアップしていきます。幅広い知識と感性を融合させて建築設計能力を高めていくよう意識して取り組むと良いでしょう。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
大学で学ぶ	1	ELP 5	1	全カテゴリーから	5		
フレッシュマンセミナー	1	ELP 6	1				
人文・社会科学要論	2	人文・社会科学カテゴリーから	2				
芸術学	2	自然科学カテゴリーから	2				
自然科学要論	2	語学国際カテゴリーから	2				
ELP 1	1	社会連携カテゴリーから	1				
ELP 2	1						
ELP 3	1						
ELP 4	1						
おかやまボランティア論	1						
おかやまを学ぶ	1						
人文・社会科学カテゴリーから	2						
自然科学カテゴリーから	2						
健康科学カテゴリーから	2						
小計	20	小計	9	小計	5	小計	
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・自然科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・健康科学カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。 ・語学国際カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。 ・社会連携カテゴリーから選択科目1単位を修得すること。 ・全カテゴリーから選択科目5単位を修得すること。 							
学部教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
デザイン史	2	建築デザイン論	2	空間デザイン論	2	建築・都市デザイン卒業研究	8
色彩学	2	造形文化論Ⅱ	2	まちづくり論	2		
造形文化論Ⅰ	2	エルゴノミクス	2	西洋建築史	2		
デザインドローイングⅠ	1	色彩計画演習	1	日本建築史	2		
デザインドローイングⅡ	1	写真演習	1	施設計画論	2		
製図	1	家具設計	1	福祉計画論	2		
DTP 演習	1	CAD 演習Ⅰ（建築・都市）	1	構造力学Ⅱ	2		
モデリング技能1	1	CAD 演習Ⅱ（建築・都市）	1	建築構法	1		
モデリング技能2	1	建築計画論	2	建築構造計画	1		
モデリング技能3	1	近現代建築論	2	建築材料演習	1		
モデリング技能4	1	都市計画	2	建築設備概論	2		
フォルムデザイン	1	環境原論	2	建築生産	2		
スペースデザイン	1	建築材料概論	1	建築法規Ⅱ	1		
エディトリアルデザイン	1	建築一般構造	1	建築設計演習5	2		
		構造力学Ⅰ	2	建築設計演習6	2		
		建築法規Ⅰ	1	建築設計演習7	2		
		建築設計演習1	2	建築設計演習8	2		
		建築設計演習2	2	建築・都市デザインインターンシップ	2		
		建築設計演習3	2	建築・都市デザインゼミナール	1		
		建築設計演習4	2				
小計	17	小計	32	小計	33	小計	8
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究の履修要件は、卒業要件単位数124単位のうち、90単位以上を修得済みであること。履修上の注意 							

⑤インテリアデザイナー、空間デザイナーをめざす場合

インテリア（空間）デザイナーは、建物内部の装飾、室内・室外の空間構成、演出等を対象としてデザインする職業です。建築物の設計までに行わない職業ですが、建築学全般の基本科目を修得したうえで、建築設計演習においてインテリアデザインに積極的に取り組みましょう。インテリアデザインに関わる授業（色彩計画演習／照明デザイン／アートプロデュース論等）、インテリアを含む製品を学ぶ科目（プロダクトデザイン論／家具設計等）、サインデザインに関わる科目（タイポグラフィ／インフォメーショングラフィックス等）を修得すると良いでしょう。

共通教育科目									
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位		
大学で学ぶ	1	ELP 5	1	人文・社会科学カテゴリーから 全カテゴリーから	2				
フレッシュマンセミナー	1	ELP 6	1		5				
人文・社会科学要論	2	社会連携カテゴリーから	1						
芸術学	2								
自然科学要論	2								
ELP 1	1								
ELP 2	1								
ELP 3	1								
ELP 4	1								
おかやまボランティア論	1								
おかやまを学ぶ	1								
人文・社会科学カテゴリーから	2								
自然科学カテゴリーから	4								
健康科学カテゴリーから	2								
語学国際カテゴリーから	2								
小計	24		小計		3	小計	7	小計	
備考									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人文・社会科学カテゴリーから選択科目 4 単位を修得すること。 ・ 自然科学カテゴリーから選択科目 4 単位を修得すること。 ・ 健康科学カテゴリーから選択科目 2 単位を修得すること。 ・ 語学国際カテゴリーから選択科目 2 単位を修得すること。 ・ 社会連携カテゴリーから選択科目 1 単位を修得すること。 ・ 全カテゴリーから選択科目 5 単位を修得すること。 									
学部教育科目									
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位		
デザイン史	2	建築デザイン論	2	照明デザイン	2	建築・都市デザイン卒業研究	8		
色彩学	2	プロダクトデザイン論	2	アートプロデュース論Ⅰ	1				
デザインドローイングⅠ	1	エルゴノミクス	2	アートプロデュース論Ⅱ	1				
デザインドローイングⅡ	1	エルゴノミクス演習	1	空間デザイン論	2				
製図	1	タイポグラフィ	1	西洋建築史	2				
DTP 演習	1	造形材料論Ⅰ	1	日本建築史	2				
モデリング技能Ⅰ	1	造形材料論Ⅱ	1	施設計画論	2				
モデリング技能Ⅱ	1	色彩計画演習	1	福祉計画論	2				
モデリング技能Ⅲ	1	写真演習	1	構造力学Ⅱ	2				
モデリング技能Ⅳ	1	インフォメーショングラフィックス	1	建築構法	1				
スペースデザイン	1	家具設計	1	建築構造計画	1				
エディトリアルデザイン	1	CAD 演習Ⅰ（建築・都市）	1	建築材料演習	1				
		CAD 演習Ⅱ（建築・都市）	1	建築設備概論	2				
		建築計画論	2	建築生産	2				
		近現代建築論	2	建築設計演習Ⅴ	2				
		環境原論	2	建築設計演習Ⅵ	2				
		建築材料概論	1	建築設計演習Ⅶ	2				
		建築一般構造	1	建築設計演習Ⅷ	2				
		構造力学Ⅰ	2	建築・都市デザインインターンシップ	2				
		建築法規Ⅰ	1	建築・都市デザインゼミナール	1				
		建築設計演習Ⅰ～Ⅳ	各2						
小計	14	小計	35	小計	34	小計	8		
履修上の注意									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業研究の履修要件は、卒業要件単位数 124 単位のうち、90 単位以上を修得済みであること。 									

⑥都市プランナー、まちづくりプランナー、都市計画の行政職をめざす場合

都市の基盤整備や開発は、行政やディベロッパー（不動産）が行います。地域課題をみつけ、魅力ある「まちづくり」に取り組みます。建築学全般の基本科目を修得したうえで、建築設計演習においては都市・地域と建築の関係性を特に意識して取り組みましょう。都市環境に関する科目（地域とデザイン/都市計画/まちづくり論/景観デザイン論/都市環境調査等）、企画系科目（マーケティング/アートプロデュース論/デザインマネジメント等）、共通教育科目における社会連携カテゴリー科目を重点的に修得すると良いでしょう。

共通教育科目							
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位
大学で学ぶ	1	ELP 5	1	人文・社会科学カテゴリーから	2		
フレッシュマンセミナー	1	ELP 6	1	社会連携カテゴリーから	4		
人文・社会科学要論	2	語学国際カテゴリーから	2				
芸術学	2	社会連携カテゴリーから	3				
自然科学要論	2						
ELP 1	1						
ELP 2	1						
ELP 3	1						
ELP 4	1						
おかやまボランティア論	1						
おかやまを学ぶ	1						
人文・社会科学カテゴリーから	2						
自然科学カテゴリーから	4						
健康科学カテゴリーから	2						
社会連携カテゴリーから	1						
小計	23	小計	7	小計	6	小計	
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・自然科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・健康科学カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。 ・語学国際カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。 ・社会連携カテゴリーから選択科目1単位と修得すること。 ・全カテゴリーから選択科目5単位を修得すること。（このモデルは、全カテゴリーをすべて社会連携カテゴリーから選択した例です） 							
学部教育科目							
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位
デザイン史	2	造形文化論Ⅱ	2	空間デザイン論	2	建築・都市デザイン卒業研究	8
色彩学	2	マーケティング	2	アートプロデュース論Ⅰ	1		
日本デザイン論	2	建築デザイン論	2	アートプロデュース論Ⅱ	1		
デザインドローイングⅠ	1	地域とデザイン	2	デザインマネジメント	2		
デザインドローイングⅡ	1	写真演習	1	まちづくり論	2		
製図	1	インフォメーショングラフィックス	1	福祉計画論	2		
DTP 演習	1	CAD 演習Ⅰ（建築・都市）	1	景観デザイン論	2		
モデリング技能1	1	CAD 演習Ⅱ（建築・都市）	1	都市環境調査	1		
モデリング技能2	1	建築計画論	2	構造力学Ⅱ	2		
モデリング技能3	1	近現代建築論	2	建築構造計画	1		
モデリング技能4	1	都市計画	2	建築材料演習	1		
フォルムデザイン	1	環境原論	2	建築設備概論	2		
スペースデザイン	1	建築材料概論	1	建築生産	2		
エディトリアルデザイン	1	建築一般構造	1	建築法規Ⅱ	1		
		構造力学Ⅰ	2	建築設計演習5	2		
		建築法規Ⅰ	1	建築設計演習6	2		
		建築設計演習1	2	建築設計演習7	2		
		建築設計演習2	2	建築設計演習8	2		
		建築設計演習3	2	建築・都市デザインインターンシップ	2		
		建築設計演習4	2	建築・都市デザインゼミナール	1		
小計	17	小計	33	小計	33	小計	8
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究の履修要件は、卒業要件単位数124単位のうち、90単位以上を修得済みであること。 							

(白紙)

2 造形デザイン学科

2.1 本学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

造形デザイン学科では、共通教育に加えて、ビジュアルデザイン領域あるいは造形デザイン領域における専門教育により、これらの関係性を知識・技能の修得を通じて学ぶことで、地域社会・国際社会の持続的発展のために、その能力を長きにわたって発揮できる、デザイナー・造形スペシャリスト等の実務担当者の育成を目指しています。

したがって、本学科では次の能力を身に付け、かつ卒業の要件を満たした者に学位を授与します。

- 【教養・多面的思考力】人間性を尊ぶ姿勢を学び、社会人としての基礎的教養を身につけ、幅広い視点の獲得により多面的に思考できる
- 【倫理観】デザイナーに求められる高い倫理観を身に付けている
- 【異文化理解・コミュニケーション力】日本語による記述力、口頭発表力、企画提案力、作品提案等を通じたコミュニケーション力、外国語によるコミュニケーション能力及びグローバルな視点を身に付けている
- 【地域でのコミュニケーション力・企画提案力】地域におけるコミュニケーション力と専門性を生かした企画提案力を身に付けている
- 【専門性1】デザイン基礎に関する知識・技能とそれらを応用できる能力を身に付けている
- 【専門性2】ビジュアルデザイン領域及び造形デザイン領域に求められる知識・技能を有し、それらを柔軟に活用することができる
- 【専門性3】ビジュアルデザイン領域及び造形デザイン領域に求められる知識・技能を活用し、学術文化や産業の振興を念頭に、社会の課題に取り組む研究能力や実務能力を有している
- 【行動力・課題解決力】持続的な発展・開発、少子高齢化への対策などの社会の要請に対し、デザインによる新たな視点や文化的価値の創造力を活かし、実効性を伴う問題提起ならびに問題解決策の提案ができる
- 【生涯学習力】地域の文化や技術の持続的発展と裾野の広がりに関心をもち、新しい知識や価値観を継続的に学修、吸収する態度を身に付け、自律的に活動できる

2.2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

造形デザイン学科では、入学者受入方針に沿い、かつ学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、次のような専門教育課程を編成しています。

- 【導入教育】修学基礎に関する共通教育科目により、大学での学びについての理解を深めます。
- 【教養・多面的思考力】自然科学、人文・社会科学、健康科学及び社会連携に関する幅広い共通教育科目により、多面的な視点と社会的な良識を持って考える能力を養成します。また、日本語の文章作法について、ストーリーづくりの基礎として学びます。さらに社会連携に関する共通教育科目では、地域社会との協働意識を養います。
- 【倫理観】フレッシュマンセミナーを通じて、現場のデザイナーによる講義に触れることで、職業人としての良識及び倫理観を培います。また、専門教育において知的財産権などの講義により、デザイナーに求められる規範意識を養います。
- 【異文化理解・コミュニケーション力1】語学国際に関する共通教育科目により、外国語によるコミュニケーション能力及びグローバルな視点を養います。

【異文化理解・コミュニケーション力2】専門教育における各演習科目のプレゼンテーションや海外協定校とのワークショップ及び卒業研究の発表会を通じて、日本語による記述力、口頭発表力、企画提案力、作品等を通じたコミュニケーション力を養います。

【地域でのコミュニケーション力・企画提案力】「岡山創生学」等の社会連携科目や専門科目により、地域が果たす役割を考え、地域の課題を発見し、その解決に向けた方策を自ら考え、専門的知識を活用して、地域と協働する能力を養います。

【専門性1】1年次は、「学部基礎教育科目」や「学科専門教育科目」でデザイン史や色彩学などのデザイン理論やデザイン基礎演習を幅広く学び、デザイン基礎に関する知識・技能を養います。なお、造形デザイン学科生に求められる、造形力・構成力・コミュニケーション力の基礎として、平面構成、立体構成、空間造形ならびにメディアコミュニケーションについて学びます。

【専門性2】2年次より「領域専門教育科目」が加わり、学生は「ビジュアルデザイン領域」あるいは「造形デザイン領域」何れかの専門科目を新たに履修します。これにより、各領域の学びを深化させ、デザイン基礎技能、発想力、問題発見力、問題解決力としての企画・提案力等の獲得を目指します。

- ・ビジュアルデザイン領域では、グラフィック・写真・映像・CG・Webなど様々な分野を組み合わせ社会のニーズを意識しながらビジュアルデザインを学修すると共に、デザインビジネス展開のための企画提案を行います。

- ・造形デザイン領域では、木工・陶磁・染織・印刷などの伝統文化に新しい発想を組み入れ、芸術性の高い造形の可能性を探ると共に、立体・空間・メディア等の特性を活かし生活文化に貢献できる企画提案を行います。

3年次以降は、領域専門科目の履修を中心に、より深くデザイン専門知識や技能を修得していきます。また、デザイン事務所や企業等での実務経験の機会となる「インターンシップ」や卒業生および社会で活躍するデザイン専門家を招聘した特別講義等により、キャリア形成に対する意識を高め卒業後の進路を明確化させ、実社会に通用する力を養ってゆきます。また各領域においては、ポートフォリオの作成をうながし、進路に応じたアドバイスを受けます。

【専門性3】4年次では、各領域で学んだ専門知識と技能を活かし、自ら発見した課題解決のために1年間を費やし「卒業研究」を履修します。卒業研究では、学科全教員の参加する中間・最終の2度の発表と指導を経て、卒業作品ならびに卒業研究ノートを作成します。作品は展覧会形式にて学外で発表され、自己の研究成果を社会に発信し、評価を得る機会としています。

【行動力・課題解決力】演習や正課外において、各種コンペ、地域ならびに国際交流の機会を活かし、作品発表やワークショップにチャレンジするとともに、学外者から与えられた課題や自ら発見した課題に取り組み、課題解決力を養います。

【生涯学習力】体系的なカリキュラムにより4年間で系統的に修得したデザイン学に関する広範囲な分野の専門的知識を基礎として、常に進展する技術やデザインの価値を見極め、自主的・継続的に学習し、自身の活動に活かすことができる能力・態度を養います。また「インターンシップ」や卒業生および社会で活躍するデザイン専門家を招聘した特別講義等により、継続的な研鑽の必要性を学びます。

2.3 卒業要件と履修方法

(1) 卒業要件

卒業要件単位数は次表のとおりである。

	必修科目	選択科目	計
共通教育科目	17 単位	17 単位	34 単位
学部教育科目	6 単位	84 単位	90 単位
計	23 単位	101 単位	124 単位

(2) 卒業研究の履修要件

4年次に開講されるそれぞれの領域専門教育科目である卒業研究の履修要件は次のとおりである。

- ・卒業要件単位数124単位のうち、90単位以上を修得済みであること。

(3) 他学部・他学科開講科目の取り扱い

デザイン工学科開講の学部教育科目の単位を修得した場合、6単位を超えない範囲で、修得単位を「学部基礎教育科目」の選択科目の単位として取り扱う。保健福祉学部および情報工学部開講の学部教育科目は自由科目として取り扱う。

(4) 所属領域の選択

領域教育プログラムは2年次からスタートする。領域選択の際は以下の点に留意すること。

- ① 所属領域は2年次に、「領域専門教育科目」の履修登録で確定する。
- ② クラス担当教員を進行役として、学科教員による領域紹介など下記の指導助言プログラムが準備されている。
 - ・1年次後期に、領域選択説明会を実施予定。その際、希望調査用紙を配布する。
 - ・説明会以降、希望調査用紙回収日までに学科の全教員が領域選択に関する相談に応じる。
 - ・領域定員は設けていないが、希望調査の集計結果によっては、履修登録前に学科より指導がある場合がある。

2.4 授業科目

	授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次および必修選択の別				開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数
				1	2	3	4			
学部基礎教育科目	デザイン史	講義	河合	◎				30	2	90 単位
	デザイン史特論Ⅰ	講義	小野	○				15	1	
	デザイン史特論Ⅱ	講義	北山	○				15	1	
	色彩学	講義	山下(明)	◎				30	2	
	日本デザイン論	講義	吉原	◎				30	2	
	情報処理論Ⅰ	講義	山下(万)	○				15	1	
	情報処理論Ⅱ	講義	益岡	○				15	1	
	造形文化論Ⅰ	講義	樋笠	○				30	2	
	造形文化論Ⅱ	講義	河合		○			30	2	
	マーケティング	講義	助川		○			30	2	
	デザイナーのための心理学	講義	※ 栗川		○			30	2	
	造形材料論Ⅰ	講義	難波		○			15	1	
	造形材料論Ⅱ	講義	塚本		○			15	1	
	プロダクトデザイン論	講義	村木		○			30	2	
	建築デザイン論	講義	岩本		○			30	2	
	エルゴノミクス	講義	塚本		○			30	2	
	地域とデザイン	講義	※ 印南		○			30	2	
	インタラクティブデザイン論Ⅰ	講義	山下(万)		○			15	1	
	インタラクティブデザイン論Ⅱ	講義	尾崎		○			15	1	
	色彩計画演習	演習	山下(明)		○			30	1	
	専門英語Ⅰ(デザイン情報読解)	講義	ブルネリ			○		30	2	
	専門英語Ⅱ(原書購読)	講義	風早			○		30	2	
	デザイナーのための文章表現	講義	柴田			○		30	2	
	アートプロデュース論Ⅰ	講義	※ 大月			○		15	1	
	アートプロデュース論Ⅱ	講義	※ 佐藤			○		15	1	
	デザインマネジメント	講義	助川			○		30	2	
	照明デザイン	講義	※ 藤原			○		30	2	
	空間デザイン論	講義	福濱			○		30	2	
	まちづくり論	講義	西川			○		30	2	
	知的財産権Ⅰ	講義	※ 平野			○		15	1	
	知的財産権Ⅱ	講義	※ 平野			○		15	1	
	特別講義	講義	※ 川野			○		30	2	
	デザインプロジェクト演習	演習	嘉数・他			○		120	4	
キャリアゼミナール	演習	学部全教員		○			30	1		
学科専門教育科目	基礎造形Ⅰ	演習	中西(俊)	○				30	1	
	基礎造形Ⅱ	演習	真世土	○				30	1	
	基礎造形Ⅲ	演習	作元・岡本	○				30	1	
	立体構成演習	演習	作元	○				30	1	
	ビジュアル表現演習	演習	関崎	○				30	1	
	印刷基礎演習	演習	関崎	○				30	1	
	空間造形演習	演習	島田	○				30	1	
	メディアコミュニケーション	演習	齋藤	○				30	1	
	ベーシックフォト	演習	北山	○				30	1	
	CG演習	演習	中西(俊)・石	○				30	1	
	デザイン発想演習	演習	西田	○				30	1	
	イラストレーション	演習	中西(俊)	○				30	1	
	タイポグラフィⅠ	演習	野宮	○				30	1	
	タイポグラフィⅡ	演習	野宮		○			30	1	
	平面構成演習Ⅰ	演習	山下(明)	○				30	1	
	平面構成演習Ⅱ	演習	齋藤・岡本		○			30	1	
	スタジオワーク	演習	嘉数		○			30	1	
	コピーライティング	演習	柴田		○			30	1	
	パッケージデザイン	演習	西田		○			30	1	
	コミュニケーションデザイン演習	演習	西田			○		30	1	
	ウェブコンテンツ演習	演習	中西(俊)		○*1	○*2		30	1	
	デザイン材料演習Ⅰ	演習	※ 笹谷	○				30	1	
	デザイン材料演習Ⅱ	演習	難波	○				30	1	
	デザイン材料演習Ⅲ	演習	※ 松永		○			30	1	
	デザイン材料演習Ⅳ	演習	南川		○			30	1	
	デザイン材料演習Ⅴ	演習	※ 吉村			○		30	1	
	動画撮影・編集基礎	演習	山下(万)・石		○			30	1	
	作品展示計画	演習	北山・島田			○		30	1	
	遊びとデザイン	演習	南川			○		30	1	
	プレゼンテーション演習	演習	嘉数			○		30	1	
	インターンシップ	演習	学科全教員			○		60	2	

授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次および必修選択の別				開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数
			1	2	3	4			
ビジュアルデザイン論Ⅰ	講義	北山・関崎		▲			30	2	
ビジュアルデザイン論Ⅱa	講義	野宮・西田		△*1			30	2	
ビジュアルデザイン論Ⅱb	講義	山下(万) 石		△*2			30	2	
ビジュアルデザイン論Ⅲa	講義	山下(明)・野宮			△*3		30	2	
ビジュアルデザイン論Ⅲb	講義	嘉数・齋藤			△*4		30	2	
ビジュアルデザイン論Ⅳ	講義	助川・関崎・風早			▲		30	2	
ビジュアルデザイン領域演習Ⅰ	演習	北山・関崎		▲			60	2	
ビジュアルデザイン領域演習Ⅱa	演習	野宮・西田		△*1			60	2	
ビジュアルデザイン領域演習Ⅱb	演習	山下(万)・石		△*2			60	2	
ビジュアルデザイン領域演習Ⅲa	演習	山下(明)・野宮			△*3		60	2	
ビジュアルデザイン領域演習Ⅲb	演習	嘉数・齋藤			△*4		60	2	
ビジュアルデザイン領域演習Ⅳ	演習	嘉数, 山下(万), 野宮, 北山, 西田, 関崎, 風早, 助川, 石			▲		60	2	
ビジュアルデザイン基礎ゼミナール	演習	領域全教員			▲		30	1	
ビジュアルデザイン卒業研究	演習	領域全教員				▲	240	8	
造形デザイン論Ⅰ	講義	吉原・南川		■			30	2	
造形デザイン論Ⅱa	講義	真世士		□*1			30	2	
造形デザイン論Ⅱb	講義	難波・島田・岡本		□*2			30	2	
造形デザイン論Ⅲ	講義	南川・吉原・中西(俊)・久保田・島田・岡本			■		30	2	
造形デザイン論Ⅳ	講義	領域全教員			■		30	2	
造形デザイン領域演習Ⅰ	演習	南川・難波・作元		■			60	2	
造形デザイン領域演習Ⅱa	演習	真世士		□*1			60	2	
造形デザイン領域演習Ⅱb	演習	岡本・島田		□*2			60	2	
造形デザイン領域演習Ⅲa	演習	南川・吉原・中西(俊)			□*3		60	2	
造形デザイン領域演習Ⅲb	演習	久保田			□*4		60	2	
造形デザイン領域演習Ⅲc	演習	島田・岡本			□*5		60	2	
造形デザイン領域演習Ⅳ	演習	領域全教員			■		60	2	
造形デザイン基礎ゼミナール	演習	領域全教員			■		30	1	
造形デザイン卒業研究	演習	領域全教員				■	240	8	

90単位

注)

「◎」印は両領域必修科目、「○」印は両領域選択科目（両領域選択科目において*1とあるのはビジュアルデザイン領域の履修年次、*2とあるのは造形デザイン領域の履修年次）
「▲」印はビジュアルデザイン領域必修科目、造形デザイン領域は選択科目
「△」印はビジュアルデザイン領域選択必修科目（*1または*2のいずれか必修、*3または*4のいずれか必修）、造形デザイン領域は選択科目
「■」印は造形デザイン領域必修科目、ビジュアルデザイン領域は選択科目
「□」印は造形デザイン領域選択必修科目（*1または*2のいずれか必修、*3から*5のいずれか必修）、ビジュアルデザイン領域は選択科目
学部教育科目の卒業要件単位数は90単位、卒業要件単位数は124単位（共通教育科目34単位を含む）
全教員担当科目は教授・准教授・講師・助教を担当教員とする。また、科目により助手が授業補助にあたる場合がある。
※は非常勤講師
担当教員は変更になる場合がある。

2.6 履修モデル

①グラフィックデザイナーをめざす場合 (◎：必修、○：選択必修、無印：選択)

グラフィックデザイナーには、情報を整理し、構図や色彩、画像・写真等の素材や文字の配置等を考え、適切且つ分かりやすく視覚伝達できる能力が求められます。主に印刷媒体を対象としますがその範囲は広く、ポスター、フライヤー、新聞広告、雑誌、書籍、商品パッケージ、サイン等、多岐にわたります。制作の多くはコンピュータを使って行われるため、コンピュータとグラフィック系ソフトを操作できるスキルも必要不可欠です。1、2年次では、基礎的かつ幅広い知識、技能の修得を目指し、2、3年次では、グラフィックデザインを実践する専門科目である、ビジュアルデザイン論Ⅱa、ビジュアルデザイン領域演習Ⅱa、ビジュアルデザイン論Ⅲa、ビジュアルデザイン領域演習Ⅲaを履修するとよいでしょう。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ ELP 5	1				
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ ELP 6	1				
◎日本語文章作法	1	人文・社会科学カテゴリーから2	2				
◎人文・社会科学要論	2	自然科学カテゴリーから2	2				
◎芸術学	2	健康科学カテゴリーから2	2				
◎自然科学要論	2	語学国際カテゴリーから2	2				
◎ ELP 1	1	全カテゴリーから4	4				
◎ ELP 2	1						
◎ ELP 3	1						
◎ ELP 4	1						
◎おかやまボランティア論	1						
◎おかやまを学ぶ	1						
人文・社会科学カテゴリーから2	2						
自然科学カテゴリーから2	2						
健康科学カテゴリーから1	1						
小計	20	小計	14	小計		小計	
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人文・社会科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・ 自然科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・ 健康科学カテゴリーから選択科目3単位を修得すること。 ・ 語学国際カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。 ・ 全カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 							
学部教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
◎デザイン史	2	造形文化論Ⅱ	2	専門英語Ⅰ (デザイン情報読解)	2	◎ビジュ	8
デザイン史特論Ⅰ	1	マーケティング	2	専門英語Ⅱ (原書講読)	2	アルデザ	
デザイン史特論Ⅱ	1	デザイナーのための心理学	2	デザイナーのための文章表現	2	イン卒業	
◎色彩学	2	地域とデザイン	2	アートプロデュース論Ⅰ	1	研究	
◎日本デザイン論	2	インタラクティブデザイン論Ⅰ	1	アートプロデュース論Ⅱ	1		
情報処理論Ⅰ	1	インタラクティブデザイン論Ⅱ	1	デザインマネジメント	2		
情報処理論Ⅱ	1	色彩計画演習	1	知的財産権Ⅰ	1		
造形文化論Ⅰ	2	タイポグラフィⅡ	1	知的財産権Ⅱ	1		
キャリアゼミナール	1	平面構成演習Ⅱ	1	特別講義	2		
基礎造形Ⅰ	1	スタジオワーク	1	デザインプロジェクト演習	4		
基礎造形Ⅱ	1	コピーライティング	1	コミュニケーションデザイン演習	1		
基礎造形Ⅲ	1	パッケージデザイン	1	作品展示計画	1		
ビジュアル表現演習	1	ウェブコンテンツ演習	1	プレゼンテーション演習	1		
印刷基礎演習	1	◎ビジュアルデザイン論Ⅰ	2	インターンシップ	2		
メディアコミュニケーション	1	○ビジュアルデザイン論Ⅱa	2	○ビジュアルデザイン論Ⅲa	2		
ベーシックフォト	1	◎ビジュアルデザイン領域演習Ⅰ	2	◎ビジュアルデザイン論Ⅳ	2		
CG演習	1	○ビジュアルデザイン領域演習Ⅱa	2	○ビジュアルデザイン領域演習Ⅲa	2		
デザイン発想演習	1			◎ビジュアルデザイン領域演習Ⅳ	2		
イラストレーション	1			◎ビジュアルデザイン基礎ゼミナール	1		
タイポグラフィⅠ	1						
平面構成演習Ⅰ	1						
小計	25	小計	25	小計	32	小計	8
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年次修了までに、90単位以上を修得すること。 							

②映像クリエイターをめざす場合 (◎：必修、○：選択必修、無印：選択)

映像クリエイターは、写真やCM、テレビ番組や映画、アニメーションやCG、ゲーム、Web など幅広いメディアの映像を作る仕事です。撮影や編集、タイトルや音声の処理など、映像制作に関わる専門知識・技術と、企画書や脚本、絵コンテの作成など、企画提案・製作系の論理的な思考力・構成力・演出力が求められます。コンピュータを使った作業が多いため、グラフィック系のみならず、映像系アプリケーションを操作できるスキルも必要不可欠です。1、2年次では、基礎的且つ幅広い知識、技能の修得を目指し、2、3年次では、映像制作やWeb デザインを实践する専門科目である、ビジュアルデザイン論Ⅱb、ビジュアルデザイン領域演習Ⅱb、ビジュアルデザイン論Ⅲb、ビジュアルデザイン領域演習Ⅲbを履修するとよいでしょう。

共通教育科目							
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ ELP 5	1				
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ ELP 6	1				
◎日本語文章作法	1	人文・社会科学カテゴリーから2	2				
◎人文・社会科学要論	2	自然科学カテゴリーから2	2				
◎芸術学	2	健康科学カテゴリーから2	2				
◎自然科学要論	2	語学国際カテゴリーから2	2				
◎ ELP 1	1	全カテゴリーから4	4				
◎ ELP 2	1						
◎ ELP 3	1						
◎ ELP 4	1						
◎おかやまボランティア論	1						
◎おかやまを学ぶ	1						
人文・社会科学カテゴリーから2	2						
自然科学カテゴリーから2	2						
健康科学カテゴリーから1	1						
小計	20	小計	14	小計		小計	

備考

- ・ 人文・社会科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。
- ・ 自然科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。
- ・ 健康科学カテゴリーから選択科目3単位を修得すること。
- ・ 語学国際カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。
- ・ 全カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。

学部教育科目

1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位
◎デザイン史	2	造形文化論Ⅱ	2	専門英語Ⅰ (デザイン情報読解)	2	◎ビジュ	8
デザイン史特論Ⅰ	1	マーケティング	2	専門英語Ⅱ (原書講読)	2	アルデザ	
デザイン史特論Ⅱ	1	デザイナーのための心理学	2	デザイナーのための文章表現	2	イン卒業	
◎色彩学	2	エルゴノミクス	2	アートプロデュース論Ⅰ	1	研究	
◎日本デザイン論	2	地域とデザイン	2	アートプロデュース論Ⅱ	1		
情報処理論Ⅰ	1	インタラクティブデザイン論Ⅰ	1	照明デザイン	2		
情報処理論Ⅱ	1	インタラクティブデザイン論Ⅱ	1	デザインマネジメント	2		
造形文化論Ⅰ	2	色彩計画演習	1	知的財産権Ⅰ	1		
キャリアゼミナール	1	タイポグラフィⅡ	1	知的財産権Ⅱ	1		
基礎造形Ⅰ	1	スタジオワーク	1	デザインプロジェクト演習	4		
基礎造形Ⅱ	1	コピーライティング	1	コミュニケーションデザイン演習	1		
基礎造形Ⅲ	1	ウェブコンテンツ演習	1	作品展示計画	1		
ビジュアル表現演習	1	動画撮影・編集基礎	1	プレゼンテーション演習	1		
メディアコミュニケーション	1	◎ビジュアルデザイン論Ⅰ	2	インターンシップ	2		
ベーシックフォト	1	○ビジュアルデザイン論Ⅱb	2	○ビジュアルデザイン論Ⅲb	2		
CG 演習	1	◎ビジュアルデザイン領域演習Ⅰ	2	◎ビジュアルデザイン論Ⅳ	2		
デザイン発想演習	1	○ビジュアルデザイン領域演習Ⅱb	2	○ビジュアルデザイン領域演習Ⅲb	2		
イラストレーション	1			◎ビジュアルデザイン領域演習Ⅳ	2		
タイポグラフィⅠ	1			◎ビジュアルデザイン基礎ゼミナール	1		
平面構成演習Ⅰ	1						
小計	24	小計	26	小計	32	小計	8

履修上の注意

- ・ 3年次修了までに、90単位以上を修得すること。

③ソーシャルデザイナーをめざす場合 (◎：必修、○：選択必修、無印：選択)

ソーシャルデザイナーは、社会的課題に対して、問題を問い、その解決策をデザインの力で創出していく役割を担っています。その社会的課題は多義に渡っており、モノのデザインだけではなく、コトもデザインする必要があり、デザインのみならず幅広い知識と経験が必要とされます。そのため、特定の素材や技法に拘らず、様々な分野の知識・技能の修得が望まれます。さらに、素材・技術をはじめとするデザイン資源を活かした新規性に富んだモノ作りを目指し、その土台となる考え方や発想力を身につけます。1、2年次では、基礎的な知識、技能の修得を目指し、2、3年次では、デザイン材料演習、デザインプロジェクト演習、造形デザイン領域演習Ⅲaを履修するとよいでしょう。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ ELP 5	1				
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ ELP 6	1				
◎日本語文章作法	1	人文・社会科学カテゴリーから2	2				
◎人文・社会科学要論	2	自然科学カテゴリーから2	2				
◎芸術学	2	健康科学カテゴリーから2	2				
◎自然科学要論	2	語学国際カテゴリーから2	2				
◎ ELP 1	1	全カテゴリーから4	4				
◎ ELP 2	1						
◎ ELP 3	1						
◎ ELP 4	1						
◎おかやまボランティア論	1						
◎おかやまを学ぶ	1						
人文・社会科学カテゴリーから2	2						
自然科学カテゴリーから2	2						
健康科学カテゴリーから1	1						
小計	20	小計	14	小計		小計	
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人文・社会科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・ 自然科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・ 健康科学カテゴリーから選択科目3単位を修得すること。 ・ 語学国際カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。 ・ 全カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 							
学部教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
◎デザイン史	2	造形文化論Ⅱ	2	専門英語Ⅰ (デザイン情報読解)	2	◎造形デザイン卒業研究	8
デザイン史特論Ⅰ	1	マーケティング	2	デザイナーのための文章表現	2		
デザイン史特論Ⅱ	1	デザイナーのための心理学	2	アートプロデュース論Ⅰ	1		
◎色彩学	2	造形材料論Ⅰ	1	アートプロデュース論Ⅱ	1		
◎日本デザイン論	2	造形材料論Ⅱ	1	デザインマネジメント	2		
情報処理論Ⅰ	1	地域とデザイン	2	知的財産権Ⅰ	1		
造形文化論Ⅰ	2	インタラクティブデザイン論Ⅰ	1	知的財産権Ⅱ	1		
キャリアゼミナール	1	インタラクティブデザイン論Ⅱ	1	特別講義	2		
基礎造形Ⅰ	1	色彩計画演習	1	デザインプロジェクト演習	4		
基礎造形Ⅱ	1	平面構成演習Ⅱ	1	ウェブコンテンツ演習	1		
基礎造形Ⅲ	1	パッケージデザイン	1	インターンシップ	2		
立体構成演習	1	デザイン材料演習Ⅲ	1	遊びとデザイン	1		
空間造形演習	1	デザイン材料演習Ⅳ	1	作品展示計画	1		
印刷基礎演習	1	◎造形デザイン論Ⅰ	2	◎造形デザイン論Ⅲ	2		
メディアコミュニケーション	1	○造形デザイン論Ⅱb	2	◎造形デザイン論Ⅳ	2		
ベーシックフォト	1	◎造形デザイン領域演習Ⅰ	2	○造形デザイン領域演習Ⅲa	2		
CG演習	1	○造形デザイン領域演習Ⅱb	2	◎造形デザイン領域演習Ⅳ	2		
デザイン発想演習	1			◎造形デザイン基礎ゼミナール	1		
イラストレーション	1						
平面構成演習Ⅰ	1						
デザイン材料演習Ⅰ	1						
デザイン材料演習Ⅱ	1						
小計	26	小計	25	小計	30	小計	8
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年次修了までに、90単位以上を修得すること。 							

④テキスタイル系クリエイターをめざす場合 (◎：必修、○：選択必修、無印：選択)

テキスタイル系クリエイターは、身近な衣服や住空間などのデザインにとどまらず、芸術表現を行うアーティストまでその範囲は広く、卒業後の進路はファッション、インテリア、ディスプレイなどの企業デザイナー、そして染織作家やアーティストなど、多彩な分野で社会に貢献します。学科では、テキスタイル素材・技術・造形表現を習得しながら、独創性や発想力を具体的に展開させ社会に提案する能力を培ってゆきます。よって、表現としてのテキスタイル作品制作のみならず、学外との共同プロジェクトを通じた実践的な学修も行います。1・2年次では、基礎的かつ幅広い知識・技能の修得を目指し、2・3年次では、テキスタイル専門科目である、造形デザイン論Ⅱb、造形デザイン領域演習Ⅱb、造形デザイン領域演習Ⅲcを履修するとよいでしょう。

共通教育科目							
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ ELP 5	1				
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ ELP 6	1				
◎日本語文章作法	1	人文・社会科学カテゴリーから2	2				
◎人文・社会科学要論	2	自然科学カテゴリーから2	2				
◎芸術学	2	健康科学カテゴリーから2	2				
◎自然科学要論	2	語学国際カテゴリーから2	2				
◎ ELP 1	1	全カテゴリーから4	4				
◎ ELP 2	1						
◎ ELP 3	1						
◎ ELP 4	1						
◎おかやまボランティア論	1						
◎おかやまを学ぶ	1						
人文・社会科学カテゴリーから2	2						
自然科学カテゴリーから2	2						
健康科学カテゴリーから1	1						
小計	20	小計	14	小計		小計	
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人文・社会科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・ 自然科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・ 健康科学カテゴリーから選択科目3単位を修得すること。 ・ 語学国際カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。 ・ 全カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 							
学部教育科目							
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位
◎デザイン史	2	造形文化論Ⅱ	2	専門英語Ⅰ（デザイン情報読解）	2	◎造形デザイン卒業研究	8
デザイン史特論Ⅰ	1	マーケティング	2	専門英語Ⅱ（原書講読）	2		
デザイン史特論Ⅱ	1	デザイナーのための心理学	2	デザイナーのための文章表現	2		
◎色彩学	2	造形材料論Ⅰ	1	アートプロデュースⅠ	1		
◎日本デザイン論	2	造形材料論Ⅱ	1	アートプロデュースⅡ	1		
情報処理論Ⅰ	1	エルゴノミクス	2	デザインマネジメント	2		
情報処理論Ⅱ	1	地域とデザイン	2	知的財産権Ⅰ	1		
造形文化論Ⅰ	2	インタラクティブデザイン論Ⅰ	1	知的財産権Ⅱ	1		
キャリアゼミナール	1	色彩計画演習	1	特別講義	2		
基礎造形Ⅰ	1	タイポグラフィⅡ	1	ウェブコンテンツ演習	1		
基礎造形Ⅱ	1	平面構成演習Ⅱ	1	作品展示計画	1		
基礎造形Ⅲ	1	コピーライティング	1	プレゼンテーション演習	1		
立体構成演習	1	パッケージデザイン	1	インターンシップ	2		
印刷基礎演習	1	デザイン材料演習Ⅲ	1	◎造形デザイン論Ⅲ	2		
空間造形演習	1	デザイン材料演習Ⅳ	1	◎造形デザイン論Ⅳ	2		
ベーシックフォト	1	◎造形デザイン論Ⅰ	2	○造形デザイン領域演習Ⅲc	2		
CG演習	1	○造形デザイン論Ⅱb	2	◎造形デザイン領域演習Ⅳ	2		
デザイン発想演習	1	◎造形デザイン領域演習Ⅰ	2	◎造形デザイン基礎ゼミナール	1		
イラストレーション	1	○造形デザイン領域演習Ⅱb	2				
タイポグラフィⅠ	1						
平面構成演習Ⅰ	1						
デザイン材料演習Ⅰ	1						
デザイン材料演習Ⅱ	1						
小計	27	小計	28	小計	28	小計	8
履修上の注意							
・ 3年次修了までに、90単位以上を修得すること。							

⑤セラミックデザイナーをめざす場合 (◎：必修、○：選択必修、無印：選択)

セラミックデザイナーの仕事は、食器やタイル、衛生陶器、環境造形など、陶磁器を中心としたデザインを対象とし、住空間から公共空間までを想定しています。そのため、様々な素材を扱い、写真、ウェブデザイン、パッケージ、プロデュースといった、セラミックのみに限定されない幅広いデザインに関する知識が必要不可欠となります。1、2年次では、基礎的な知識、技能の修得を目指し、2、3年次では、セラミックデザインを実践する専門科目である、造形デザイン論Ⅱa、造形デザイン領域演習Ⅱa、造形デザイン論Ⅲ、造形デザイン領域演習Ⅲbを履修するとよいでしょう。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
◎大学で学ぶ	1	◎ ELP 5	1				
◎フレッシュマンセミナー	1	◎ ELP 6	1				
◎日本語文章作法	1	人文・社会科学カテゴリーから2	2				
◎人文・社会科学要論	2						
◎芸術学	2	自然科学カテゴリーから2	2				
◎自然科学要論	2	健康科学カテゴリーから2	2				
◎ ELP 1	1	語学国際カテゴリーから2	2				
◎ ELP 2	1	全カテゴリーから4	4				
◎ ELP 3	1		2				
◎ ELP 4	1		4				
◎おかやまボランティア論	1						
◎おかやまを学ぶ	1						
人文・社会科学カテゴリーから2	2						
自然科学カテゴリーから2	2						
健康科学カテゴリーから1	1						
小計	20	小計	14	小計		小計	
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人文・社会科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・ 自然科学カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 ・ 健康科学カテゴリーから選択科目3単位を修得すること。 ・ 語学国際カテゴリーから選択科目2単位を修得すること。 ・ 全カテゴリーから選択科目4単位を修得すること。 							
学部教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
◎デザイン史	2	造形文化論Ⅱ	2	専門英語Ⅰ (デザイン情報読解)	2	◎造形デザイン卒業研究	8
デザイン史特論Ⅰ	1	マーケティング	2	専門英語Ⅱ (原書講読)	2		
デザイン史特論Ⅱ	1	デザイナーのための心理学	2	デザイナーのための文章表現	2		
◎色彩学	2	造形材料論Ⅰ	1	アートプロデュース論Ⅰ	1		
◎日本デザイン論	2	造形材料論Ⅱ	1	アートプロデュース論Ⅱ	1		
情報処理論Ⅰ	1	エルゴノミクス	2	デザインマネジメント	2		
造形文化論Ⅰ	2	地域とデザイン	2	知的財産権Ⅰ	1		
キャリアゼミナール	1	色彩計画演習	1	知的財産権Ⅱ	1		
基礎造形Ⅰ	1	平面構成演習Ⅱ	1	デザインプロジェクト演習	4		
基礎造形Ⅱ	1	スタジオワーク	1	ウェブコンテンツ演習	1		
基礎造形Ⅲ	1	コピーライティング	1	デザイン材料演習Ⅴ	1		
立体構成演習	1	パッケージデザイン	1	作品展示計画	1		
空間造形演習	1	デザイン材料演習Ⅲ	1	遊びとデザイン	1		
ベーシックフォト	1	デザイン材料演習Ⅳ	1	インターンシップ	2		
デザイン発想演習	1	◎造形デザイン論Ⅰ	2	◎造形デザイン論Ⅲ	2		
イラストレーション	1	○造形デザイン論Ⅱa	2	◎造形デザイン論Ⅳ	2		
タイポグラフィⅠ	1	◎造形デザイン領域演習Ⅰ	2	○造形デザイン領域演習Ⅲb	2		
平面構成演習Ⅰ	1	○造形デザイン領域演習Ⅱa	2	◎造形デザイン領域演習Ⅳ	2		
デザイン材料演習Ⅰ	1			◎造形デザイン基礎ゼミナール	1		
デザイン材料演習Ⅱ	1						
小計	24	小計	27	小計	31	小計	8
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年次修了までに、90単位以上を修得すること。 							